



創成川通の機能強化

都心から高速道路までの距離が他都市に比べて遠い、札幌のまち。北海道新幹線札幌延伸が迫る中、広域的な交通ネットワークの形成を目指し、創成川通(国道5号)の機能強化が推進されている。創成川通の既存の創成トンネルから札幌自動車道までの約4.8kmを、地下トンネル主体で結ぶ計画だ。これにより都心部から札幌自動車道までの渋滞の改善や、交通事故の減少に期待がかかる。さらに地下に位置することにより、積雪にも強い。



JR札幌駅北口再開発

2030年に予定されている北海道新幹線の札幌延伸に伴い、札幌駅周辺の再開発が速度を上げている。北区ではタワーマンション、オフィス、ホテル、商業施設などの複合型ビルが北8西1地区に開業予定。JR札幌駅北口のランドマークとして新たな人の流れが生まれるだろう。また創成川に面した北6西1地区でもビル新設が進んでいる。



北区の近未来が気になる。

いくつもの河川が流れ込む平坦な地形から、いち早く屯田兵による入植が始まった北区。その後、宅地化と並行して発展した交通網により、市内10区中最多、約29万人という人口規模を誇るまでになった。新しい街並みが郊外へと広がり、豊かな自然と歴史に育まれてきたまちは、区制50周年を迎えた今もこれからも、大きく逞しく進化を続けていく。

屯田西公園施設改修



多くのスポーツ施設とウォータースライダーなどの遊具広場がある広大な運動公園は、開設から40年以上経ち現在施設改修中。老朽化した施設を新しくし、より利用やすく一部施設の配置整理を行い、駐車場を拡張するなど、エリアや施設ごとに順次工事をしていく。5年ほどかけて行われる施設改修後が楽しみだ。

JR篠路駅周辺のまちづくり

地域の交流拠点として期待されるJR篠路駅周辺では長期的なまちづくりが進行中だ。土地区画整理や周辺道路整備、鉄道高架化などの社会基盤整備が進められるとともに、駅周辺の今後の土地利用について地域とともに考える取り組みも行われている。



2021年地下鉄南北線開業50周年

1972年の冬季オリンピック開催に合わせて、1971年に南北線北24条駅-真駒内駅間が開業。翌年、麻生駅への延伸が決定し、1978年には北24条駅-麻生駅間が開業した。積雪寒冷地にある大都市の機能を支え、北区の宅地化、人口増を後押ししている。



北海道を警備しながら、開発する兵農兼備という特殊な任務を担った兵制屯田兵。
明治8年(1875)から25年間にわたり、道外から計7,337戸の兵士とその家族が北海道各地に入植し、厳しい自然環境のもと、道を造り大地を耕し、現在へと続くまちづくりが推し進められた。札幌では琴似、山鼻に続き、新琴似と現在の屯田に兵が入り、彼らの多くは東北や北陸出身だったが、北区には徳島、和歌山、山口、福岡、熊本、福井、石川など、広範囲からやって来たそうだ。故郷から遠く離れた北の大地に入植した彼らの足跡と功績を知ると、深い感謝の思いが込み上げてくる。

屯田地区のまちづくりの歴史



屯田兵の功績を振り返る。

屯田兵とその家族による入植から100年を記念して開設された屯田郷土資料館には、実物大の屯田兵の家屋が復元され、その間取りや展示品などから当時の暮らしの様子を知ることができる。入植当時、この地域には、兵屋が220戸も立ち並び、1,056人が暮らしていた。屯田兵は子どもへの教育にも熱心で、入植翌年の明治23年(1890)には公立長永簡易小学校(現屯田小学校)を開校した。
入植後からの度重なる水害や人口減少の苦難を乗り越え、大正(昭和時代の稲作の普及とともに)人々の暮らしは安定。昭和40年代以降は宅地造成が進み、屯田地区は市内有数の住宅地として発展していく。

屯田郷土資料館 C-2/50

屯田5条6丁目 屯田地区センター内
開館時間 13:00~16:00 月・年末年始休
Tel.(011)772-1811



新琴似屯田兵中隊本部

市指定有形文化財 B-3/39

新琴似8条3丁目 新琴似神社境内
開館期間 4月~11月 月・水・金・日休
開館時間 10:00~16:00
Tel.(011)765-3048(現地管理人)

九州士族146戸(その翌年、74戸を補充)が入植した新琴似兵村の役場として、第一陣が入植する前年の明治19年(1886)に建築され、兵役解除後も地域の要所として利用された札幌に残る唯一の屯田兵中隊本部。中隊本部は道内37か所に置かれていたが、現存するのは野幌と新琴似の2か所だけに。現在は創建時の姿に復元され、当時の生活を伝えるもやい(共同)井戸など、屯田兵に関する資料が保存展示されている。
中隊本部が残る新琴似神社も明治20年(1887)に屯田兵によつて創祀。境内には開村記念碑などの碑も多くある。

南から北へ志高く集った人々

もやい(共同)井戸跡 B-3/33

開村記念碑 B-3/41

